

福井県職員 クレド

私たちは、徹底的に現場にこだわり、県民の声を聴く「県民主役の県政」を常に意識し、次の5つのクレドに基づき責任を持って行動します。

1 「現場」って本来の職場

- ・ 自分にとっての現場がどこか確認する。
- ・ 現場の状況、相手をよく観察する。課題を探す。
- ・ 現場を起点に、解決への切り口をより多く見つける。



2 「挑戦」って毎日するもの

- ・ 自分の枠に捉われず、小さな挑戦を毎日続ける。
- ・ 批判だけで終わらない。共に解決策を考え、挑戦する仲間を応援する。
- ・ 挑戦による失敗から学ぶ。安心して挑戦できる職場を作る。



3 「協働」って仕掛けづくり

- ・ 相手の話をよく聴き、自分の意見と熱意を伝え、信頼関係を築く。
- ・ 意見が対立した時には、実施する目的を互いに確認する。
- ・ 相手と自分の強みを活かし、共に参加したくなる仕掛けを作る。



4 「創意工夫」って現状打破

- ・ 制約を理由にあきらめない。「アイデアを拵げて絞る」を繰り返す。
- ・ 自分の領域・分野の外からも考えてみる。
- ・ ありそうでなかった“新しい常識”を福井県から生み出す。



5 「効率化」って決める覚悟

- ・ 県民と自分のために、最小の時間で成果を最大にする。
- ・ 仕事の目的を考え、「やるべき仕事」の優先順位を決める。
- ・ 「やめる、減らす、変える」を実践し、チャレンジする時間を作る。



(参考)

福井県職員クレドの策定について

1 策定の目的

職員一人ひとりが「県民主役の県政」を常に意識し、自らの判断で責任を持って行動できるようにするため、日々の業務の拠り所となる福井県職員として統一された判断軸や基準を明示する。

2 策定の経過

令和	元年	5月10日	知事政策集に基づき、若手職員クレド検討チーム(20~30代の男女10名)結成
令和	元年	5月17日	クレド検討チーム第1回会議(策定の方向性)※知事出席
令和	元年	6月上旬~	民間企業・団体等へのヒアリング
令和	元年	6月11日	クレド検討チーム第2回会議(本文案)
令和	元年	6月27日	クレド検討チーム第3回会議(本文案、職員アンケート)
令和	元年	7月3日	クレド検討チームによる知事への検討状況報告
令和	元年	7月8日	職員向けアンケート(クレド本文案に対する評価・意見)
令和	元年	7月30日	クレド検討チーム第4回会議(本文案)
令和	元年	8月19日	クレド検討チームによる知事への検討状況報告
令和	元年	8月30日	クレド検討チームによる知事への原案提示
令和	元年	9月2日	庁議にてクレド決定

3 クレドの内容

別紙「福井県職員クレド」参照

4 クレドの施行日

令和元年9月5日(木) ※全所属への総務部長通知をもって施行

5 クレド導入による主な効果

- ・「県民主役の県政」を推進するため、具体的にどう動くべきか分かりやすくなる
- ・職員が主体的に考え行動するようになり、業務のモチベーションが上がる
- ・組織と個人が価値観を共有し、組織内のコミュニケーションが活発になる

6 今後のスケジュール(予定)

令和元年	9月	クレドポスター庁舎掲示(本庁、出先機関に掲示)
		クレド庁内放送開始(始業時に放送)
令和元年	11月	全職員へのクレドカード配布(名札ケースにて携行)
令和元年	11月~	クレド研修(嶺北4回、嶺南2回)
令和2年	2月	クレド表彰(模範となる好事例を表彰)